

平成23年度 知能機械情報学専攻

大学院博士課程入学試験問題

「知能機械情報学（論述）」

試験日時：平成22年8月24日（火）13:00～14:40

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題は問題1と問題2がある。全部に解答すること。
3. 問題冊子に落丁、乱丁、あるいは印刷不鮮明な箇所があれば申し出ること。
4. 答案用紙は2枚配布される。枚数を確認し、過不足があれば申し出ること。問題ごとに1枚の答案用紙を用いて解答すること。答案を表面で書ききれない場合は裏面を使用しても構わない。その際は裏面にも解答した旨を表面に記入すること。
5. 答案用紙の指定された箇所に、科目名の「知能機械情報学（論述）」、修士・博士の別、受験番号、その答案用紙で解答する問題番号を記入すること。これらが記入漏れの場合は採点されないことがある。
6. 解答に関係のない記号や符号を記入した答案は無効となる。
7. 答案用紙は、解答ができなかった問題についても、科目名、修士・博士の別、受験番号、問題番号を記入し、2枚全部を提出すること。
8. 下書きは問題冊子の草稿用のページを用いること。
9. この問題冊子にも受験番号を記入し提出すること。

受験番号	
------	--

上欄に受験番号を記入すること。

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 1

わが国は 10 年先を見据えた長期戦略として、健康・医療分野や環境・エネルギー分野におけるイノベーションに注目している。イノベーションの定義は様々なものが考えられるが、ここでは、科学技術的なブレークスルーによって生まれたものが、社会的に大きな変化をもたらす革新であると定義する。このとき、上記のいずれかの分野のイノベーションに貢献できる知能機械または情報システムの例を 1 つ挙げ、その実現に必要な革新的技術を説明せよ。また、そこで挙げた例によって我々のライフスタイルがどのように変化するか具体的に論ぜよ。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

問題 2

あなたが博士課程で取り組みたいと考えている研究に関して以下の問に答えよ。

問 1. 研究を適切に表す研究課題名を日本語と英語で記せ。

問 2. 研究の目的を述べよ。また、その研究を分かりやすく示す概念図を描け。

問 3. 目的を達成するための具体的な研究計画と、研究成果から得られる波及効果を説明せよ。

問 4. あなたが考えるキャリアプランを国際的な見地から述べ、その中での博士課程の位置づけを述べよ。

以上

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)

草稿用紙
(切り取らないこと)